



無所属・無党派

さいたま市議会議員

川村 準

市議会レポート

10月号

南区南浦和1-27-11-107
携帯 090-1404-2151
junkawamura@yahoocorp.jp
@yahoo.co.jp

コロナでいじめが増加か 教師増やし子どもも守れ

新型コロナウイルスの負の影響は、大人だけでなく子どもにも及んでいます。あるNPOが行ったアンケート調査では、「今後、いじめが増える」という問いに、9割の教職員がそう思う、と回答しています。子どもたちをしっかりとケアする人員配置を行うよう、教育委員会に求めました。

コロナは年齢関係なく

新型コロナウイルスの精神的負担は大人ですら大きく、子どもにとっても、より大きな負担になっています。

事実、NPO法人「共育の杜」の教職員およそ1200人が回答したアンケート

この調査で、3人に一人の教職員が疲労やストレスの影響

財源案も提示

財源は、市職員の給与を減らすこと、またさいたま市役所の移転のための基金（貯金）の取り崩しを提案しました。

市役所移転に関しては、昨年およそ50億円かけて耐震補強工事を行っており、基金を使っても問題ありません。

その後、7月3日に、市は学校の雑務や教師のサポートを行う臨時雇用スタッフ

私は、6月議会の一般質問で、市職員の数を増加させ、職員一人当たりの仕事量を減らすと同時に、コロナ不況の雇用対策につなげるべきだ、と提案しました。

ている子どものケアが出来ない。マンパワーを増やし、子どもたちのケアをしっかりと行うべきだ」

「教師の残業時間に関し、しっかりと注視と検証をし持続可能な職場づくりを作っていく」

浦和の伝統は文教都市であり、未来を担う子供は文字通り室です。私は今後も、子どもたちの希望ある未来を切り開くべく頑張ります。